



国指定名勝 三溪園  
記者発表資料

平成 28 年 12 月 1 日  
公益財団法人 三溪園保勝会  
事業課長 吉川利一  
横浜市中区本牧三之谷 58-1  
T E L 045 - 621 - 0634・5  
<http://www.sankeien.or.jp>

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者会 各位

## 開園 110 周年記念企画展 会所—三溪園の建物と花— エバレット・ブラウン湿板光画展

写真家エバレット・ブラウンは、日本の風景や伝統の文化・技術をテーマに、湿板という古くからの撮影技法を駆使して制作活動を行っています。

三溪園では 2 度目の開催となるブラウン氏の湿板光画展。前回、2015 年冬は、園の創設者・原三溪が追及した美の世界に着目した展覧会でした。今回は、会所という中世の文化サロンを三溪園に見立て、梶井宮御流家元・藤原素朝氏のいけばなを設えた古建築内部を撮影した作品が中心となります。多くの文化人が集った三溪園は会所のような役割を果たしたといえます。文化の芽を育てた三溪の思いを感じながら設えられた「いけばな」と「湿板光画」の世界を堪能してください。

エバレット・ブラウン  
「聴秋閣」

湿板とは、透明のガラス板にコロジオンという非水溶性物質を塗って皮膜を作り、これを硝酸銀の溶液に浸して感光性を持たせたもの。この湿板を使った撮影技法は、1851 年イギリスで発明され、写真普及のきっかけとなりました。写真を“光画”と呼んだ幕末期、フェリーチェ・ベアトらはこの技法を用いて日本の姿を写し、数多くの作品を残しました。

いけばな：一松斎藤原素朝



- 期間 2016年12月20日(火)～2017年3月12日(日) \*休園日12月29～31日
- 時間 9:00～17:00 (入場は16:30)
- 会場 三溪記念館 第3展示室
- 料金 入園料のみ

#### ■関連事業

##### ○特別講演会「会所」といけばなデモンストレーション

日時：2017年2月12日(日) 14:00～15:30

会場：鶴翔閣

講演：エバレット・ブラウン氏、藤原素朝氏、近衛忠大氏 (クリエイティブディレクター)

参加費：無料 (別途三溪園入園料が必要)

定員：80名 (ハガキによる申込先着順「郵便番号・住所・氏名・電話番号・FAX またはE-mail アドレス」を記載、「三溪園 特別講演会係」宛)

協力：会所プロジェクト

##### ○梶井宮御流のいけばなの展示

期間：2017年2月12日(日)～26日(日)

会場：臨春閣・第三屋 \*建物の外からの鑑賞となります

#### エバレット・ブラウン Everett Kennedy Brown

1959年、アメリカのワシントン D.C. 生まれ。88年から日本に定住。epa 通信社日本支局長を経て、現在は湿板光画家、ブラウズフィールド代表として活動。国内の媒体を始め、「ナショナル・ジオグラフィック」、「GEO」、「家庭画報 INTERNATIONAL」、「ル・モンド」などに広く作品を寄せる。著書に『俺たちのニッポン』(小学館)、『日本力』(松岡正剛氏との共著・パルコ出版)他多数。日本文化デザインフォーラム会員、文化庁主催「文化芸術立国の実現のための懇話会」会員、経済産業省クール・ジャパン官民有識者会議委員など。テレビ出演に、「奥の細道」(SkyPerfect!)、「写真家たちの日本紀行」(BS ジャパン)、「エコの作法」(BS 朝日)、「エルムンド」(NHK BS1)など。文化庁長官表彰被表彰者。 [www.everettkennedybrown.com](http://www.everettkennedybrown.com)

#### 藤原素朝 ふじわらそちよう

1971年、梶井宮御流第二十世家元一松齋藤原素朝の長女として生まれる。1998年の副家元就任を経て、2004年に梶井宮御流第二十一世家元を継承襲名。2005年、三溪園鶴翔閣において家元継承襲名記念展を開催する。この年より流派発祥の地である三千院門跡の大法要の献花を、2011年より毎年11月に三千院門跡において秋季華道展を開催。その他、個展、異業種とのコラボレーション等精力的に活動。 [www.kjg.jp](http://www.kjg.jp)

#### ■三溪園の施設案内

《所在地》三溪園 横浜市中区本牧三之谷 58-1

《交通アクセス》

- JR 根岸線根岸駅から市営バスで10分、「本牧」バス停下車、徒歩10分
- 横浜駅東口から市営バスで35分、「三溪園入口」下車、徒歩5分
- 桜木町駅から市営バスで25分、「三溪園入口」下車、徒歩5分
- みなとみらい線元町中華街駅4番出口から市営バス(「山下町・タワー入口」)で15分、「三溪園入口」下車、徒歩5分
- ぶらり三溪園 BUS (土休日限定) : 横浜駅から三溪園 45分

お問合せ：三溪園 事業課 清水、吉川  
〒231-0824 横浜市中区本牧三之谷 58-1  
TEL045-621-0634・5/FAX045-621-6343  
<http://www.sankeien.or.jp>